

第2章 就職活動時期変更に関する学生の認識

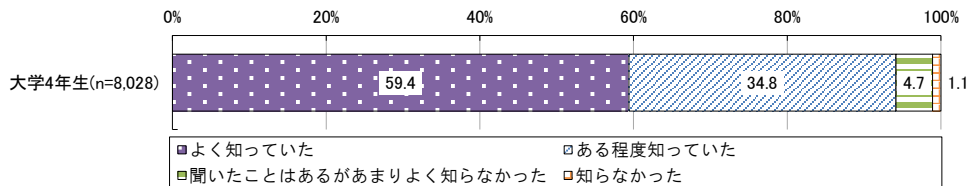
(1) 就職活動時期変更に関する認知の状況

①就職活動時期変更に関する認知度

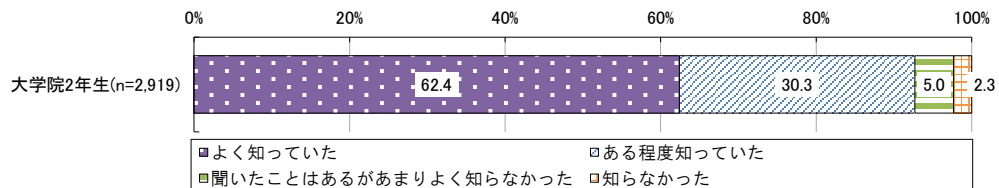
就職活動を開始するにあたり、就職・採用活動の時期が昨年度の日程から変更になっていることについて知っていたかをたずねたところ⁹、大学4年生・大学院2年生のそれぞれで、「よく知っていた」との回答は約6割となっており、「ある程度知っていた」との回答の合計は9割以上になっている(図表2-1-1、図表2-1-2)。

なお、昨年度調査において「就職活動時期後ろ倒し」について知っていたかをたずねた設問への回答結果¹⁰(図表2-1-3、図表2-1-4)と比較すると、今年度調査においては、大学4年生・大学院2年生ともに、「よく知っていた」の回答割合が高くなっている。

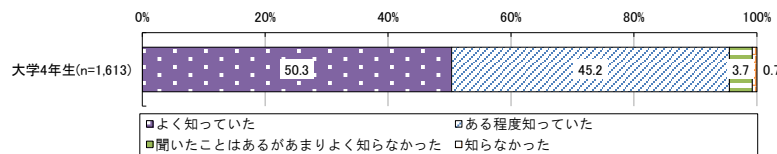
図表 2-1-1 大学4年生、就職活動時期変更に関する認知度



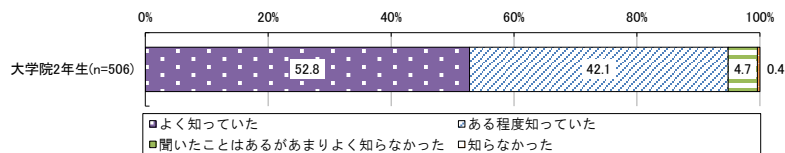
図表 2-1-2 大学院2年生、就職活動時期変更に関する認知度



図表 2-1-3 【参考・昨年度調査】大学4年生、「就職活動時期後ろ倒し」の認知度



図表 2-1-4 【参考・昨年度調査】大学院2年生、「就職活動時期後ろ倒し」の認知度



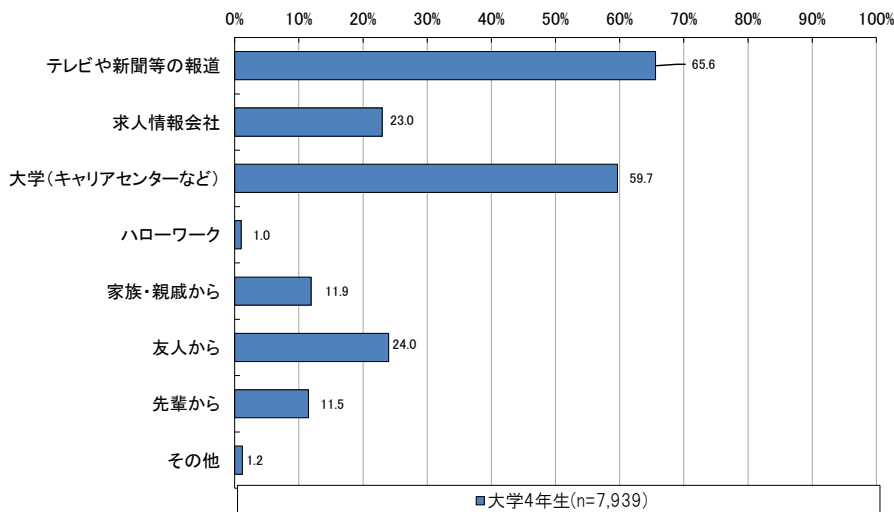
⁹ ここでの今年度調査の集計結果は、「就職活動を行った(終了)」「就職活動を行っている(継続している)」「これから就職活動を行う予定である」と回答した者が集計対象で、「就職活動を行わなかった(行う予定はない)」と回答した者は集計の対象外である。

¹⁰ 昨年度調査は、「就職活動を行った」者が集計対象で、「就職活動を行わなかった」者は集計の対象外である。

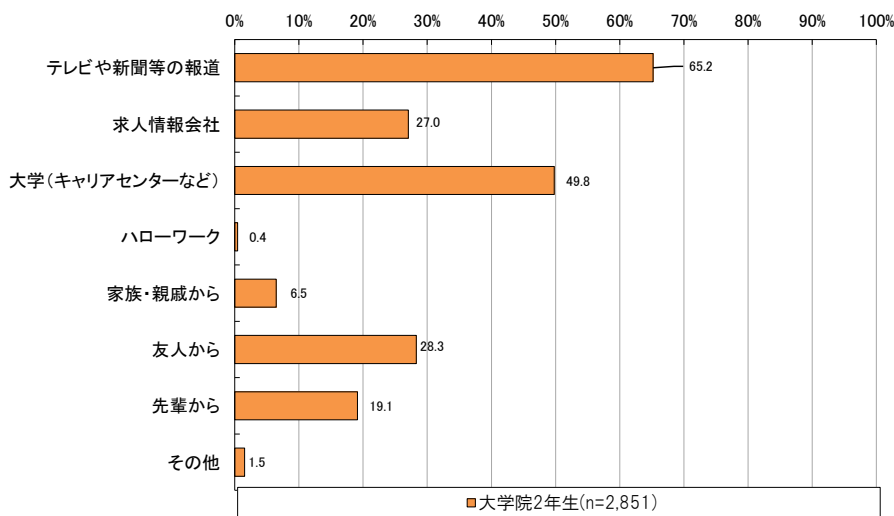
②就職活動時期変更に関する情報源

どのようなルートで就職・採用活動の時期の変更を知ったかについてたずねたところ¹¹、大学4年生・大学院2年生ともに、「テレビや新聞等の報道」との回答割合が6割以上と最も高く、次いで「大学（キャリアセンターなど）」との回答が高くなっている（図表2-1-5、図表2-1-6）。

図表 2-1-5 大学4年生、就職活動時期変更に関する情報源（複数回答）



図表 2-1-6 大学院2年生、就職活動時期変更に関する情報源（複数回答）



¹¹ 就職・採用活動の時期が昨年度の日程から変更になっていることについて「よく知っていた」「ある程度知っていた」「聞いたことはあるがあまりよく知らなかった」と回答した者が集計の対象で、「知らなかった」と回答した者は集計の対象外である。

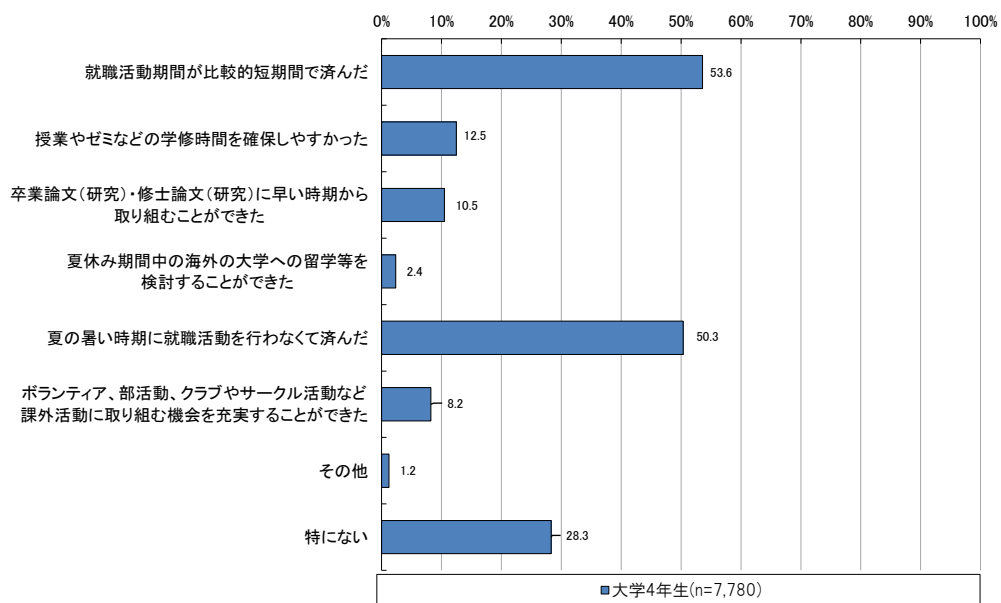
(2) 就職活動時期変更の影響に関する認識

①就職活動時期変更のよい影響に関する認識

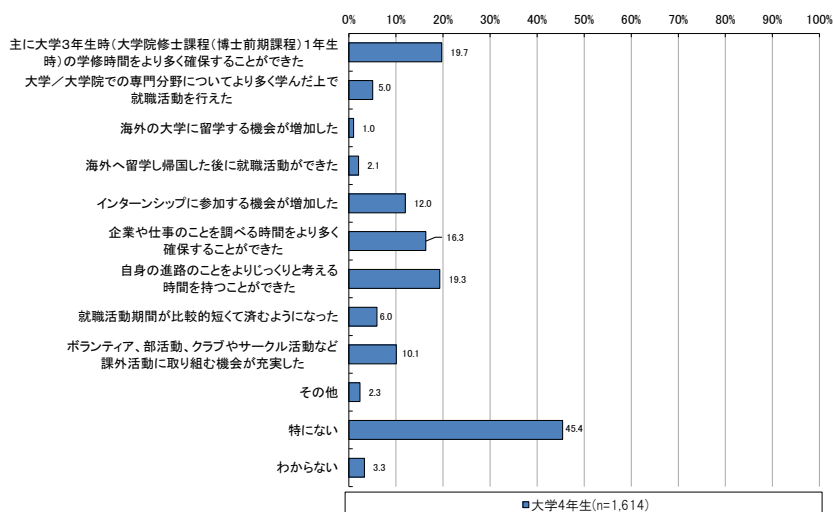
就職・採用活動の時期が変更になったことにより、よい影響があったと思うことについてたずねたところ¹²、大学4年生・大学院2年生ともに、「就職活動期間が比較的短期間で済んだ」の回答割合が5割以上と最も高く、次いで「夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ」との割合が高くなっている(図表2-2-1、図表2-2-3)。

なお、昨年度調査では、「特にない」との回答割合が5割近くであったが(図表2-2-2、図表2-2-4)、今年度調査では3割弱となっている。

図表 2-2-1 大学4年生、就職活動時期変更についてよい影響があったと思うこと
(最大3つまで選択)



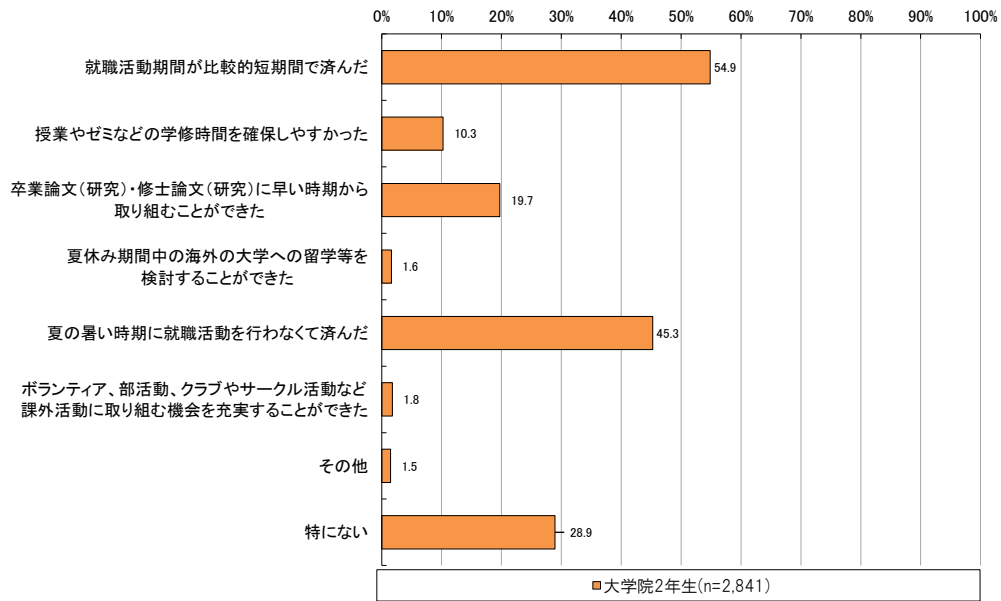
図表 2-2-2 【参考・昨年度調査】大学4年生、「就職活動時期後ろ倒し」についてよい影響があったと思うこと (最大3つまで選択)



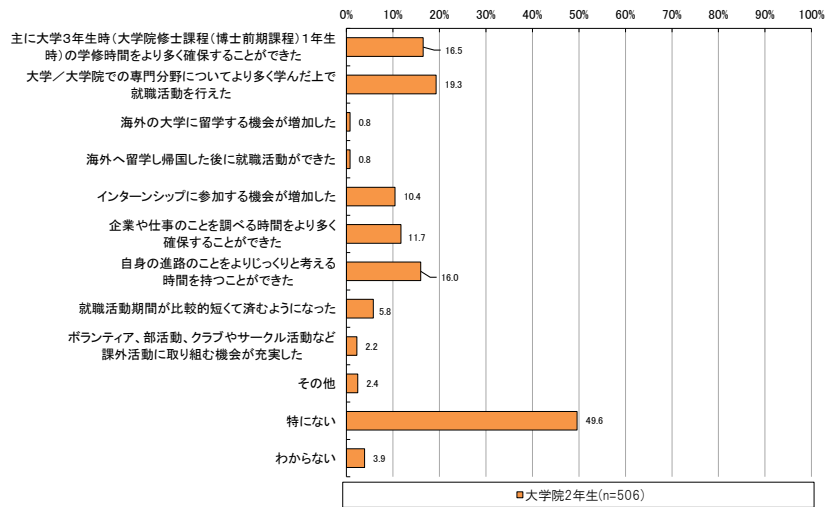
¹² これ以降、特段注記等をしていない場合、今年度調査については「就職活動を行った(終えた)」「就職活動を行っている(継続している)」と回答した者が集計対象である。なお、昨年度調査は「就職活動を行った」者が集計対象である。

図表 2-2-3 大学院 2 年生、就職活動時期変更についてよい影響があったと思うこと

(最大 3 つまで選択)



図表 2-2-4 【参考・昨年度調査】大学院 2 年生、「就職活動時期後ろ倒し」についてよい影響があったと思うこと (最大 3 つまで選択)

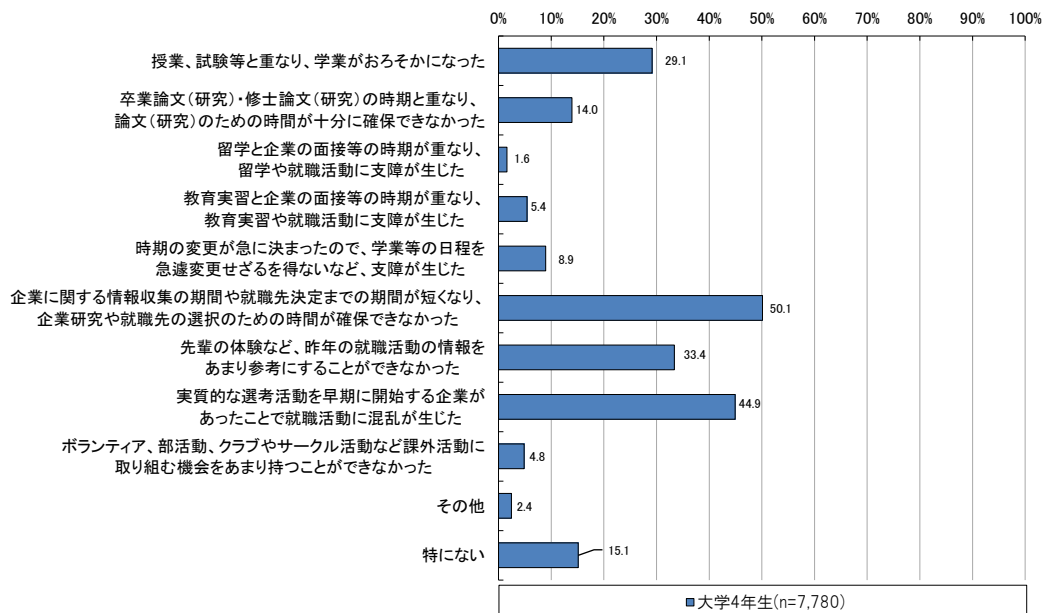


②就職活動時期変更に関する課題等に関する認識

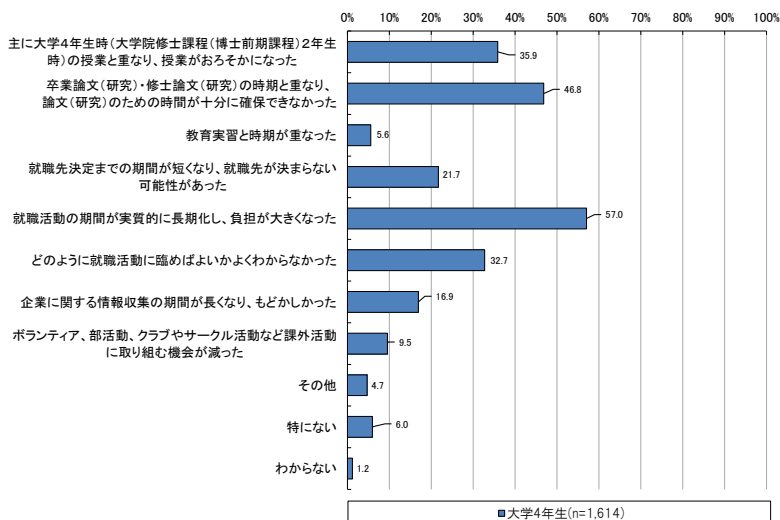
就職・採用活動の時期が変更になったことで課題になったことについてたずねたところ、大学4年生・大学院2年生ともに、「企業に関する情報収集の期間や就職先決定までの期間が短くなり、企業研究や就職先の選択のための時間が確保できなかった」との回答割合が約5割で最も高く、次いで、「実質的な選考活動を早期に開始する企業があったことで就職活動に混乱が生じた」「先輩の体験など、昨年の就職活動の情報をあまり参考にすることができなかった」との回答割合が高くなっている（図表2-2-5、図表2-2-7）。

なお、昨年度調査においては、「就職活動の期間が実質的に長期化し、負担が大きくなった」「卒業論文（研究）・修士論文（研究）の時期と重なり、論文（研究）のための時間が十分に確保できなかった」などの回答割合が高かった（図表2-2-6、図表2-2-8）。

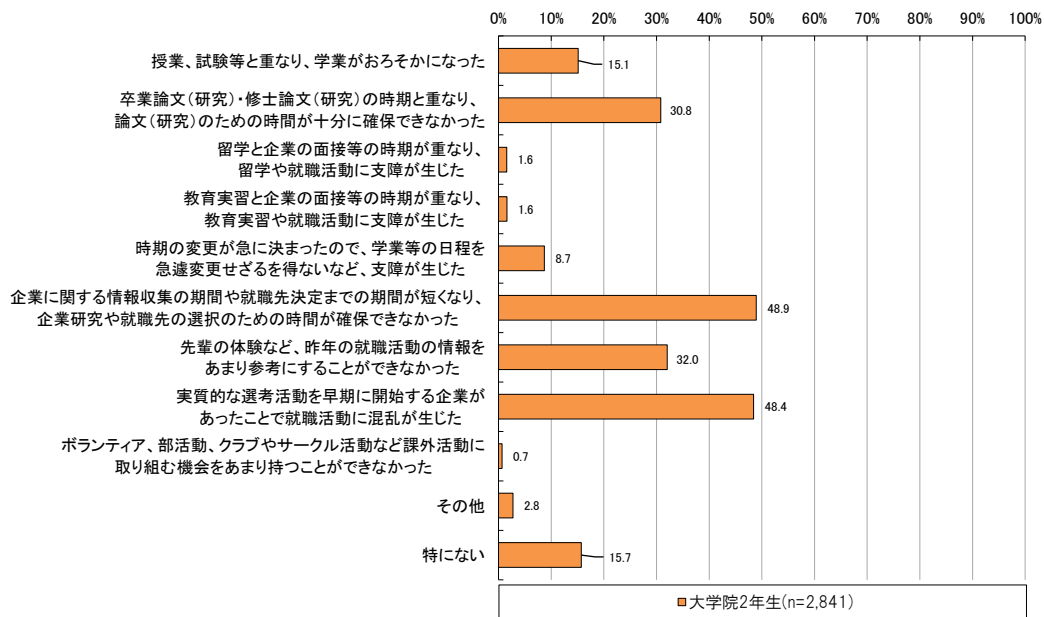
図表 2-2-5 大学4年生、就職活動時期変更について課題になったと思うこと（最大3つまで選択）



図表 2-2-6 【参考・昨年度調査】 大学4年生、「就職活動時期後ろ倒し」について課題になったと思うこと（最大3つまで選択）



図表 2-2-7 大学院 2 年生、就職活動時期変更について課題になったと思うこと（最大 3 つまで選択）



図表 2-2-8 【参考・昨年度調査】大学院 2 年生、「就職活動時期後ろ倒し」について課題になったと思うこと（最大 3 つまで選択）

